組立・施工説明書

アルミニウム合金製 躯体式バルコニー屋根 柱取付要領

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

組立・施工の前に…
商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

組立・施工の後に…
取扱説明書・使い方＆お手入れガイドブックをお施主様にお渡しください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

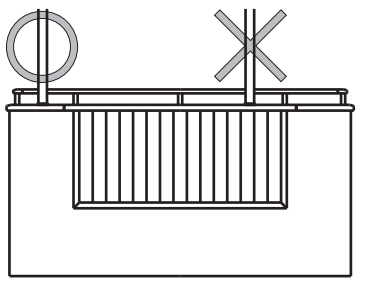
お願い

- 建物の屋根雪が直接落ちる場所には、取付けないでください。
- みだりに改造や変更はしないでください。
- 組立ては、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。
  締め付け不良は漏水や性能低下および事故の原因になります。
- 商品の上に乗ったりはしごをかけないでください。
  商品の破損だけでなく落下事故の原因になります。

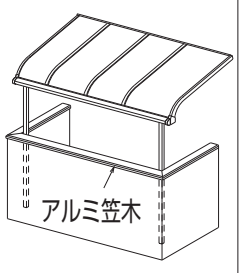
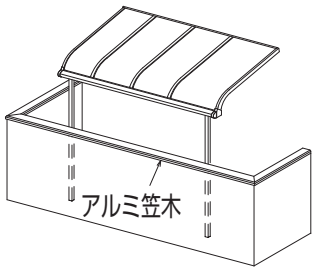
施工上の注意

以下のような場所への取付けはできません。

- 2、3階に取付けることを前提として設計してあります。
  設定階を超える場所への取付けは破損の原因になりますので、絶対に行わないでください。
- **掘込み部の上に柱をたてることはできません。**
  掘込み部を避けて取付けてください。



商品仕様

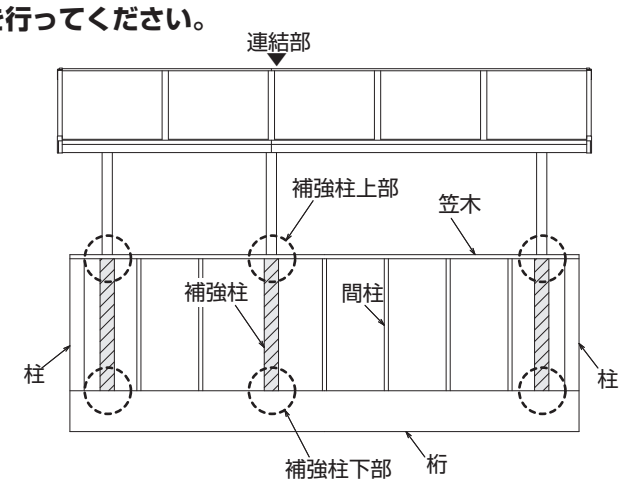
姿　図		コーナー用	中間用
			
施工方法		後付施工	後付施工
躯体補強		不要	必要
笠木の種類	フラットタイプ	○	○
	傾斜タイプ	○	○

シーリングは必ず実施してください！

- 「**シーリングマーク**」で表示している箇所の**シーリングは必ず行ってください。**
  シーリングがされないと、**漏水の原因**となります。
- シーリング材は別途手配品です。

躯体補強について

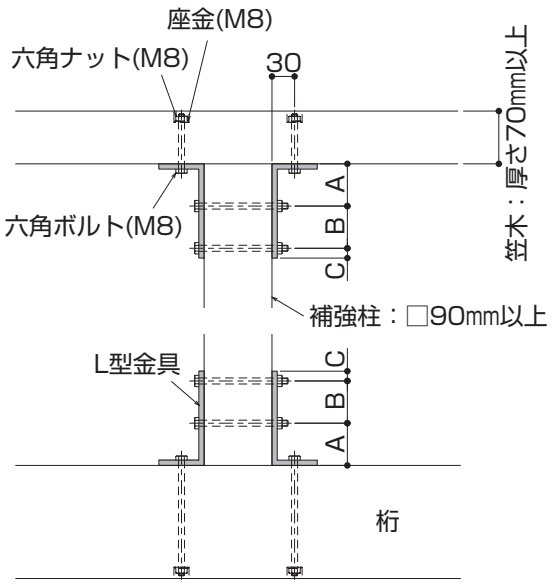
※躯体補強（商品仕様参照）が必要な場合、以下を参考に建築業者様と事前に打合わせを行ってください。



■躯体補強について

- 外壁仕上げの前にバルコニー屋根の柱位置を決め、
  真下に □90㎜以上の補強柱（木）
  厚さ70㎜以上の笠木（木）
  を現地にて取付けてください。

- 風による吹上げ荷重がかかるおそれがあります。
  以下を参考に**補強柱を強固に連結**してください。



A：56㎜以上（ボルト径の7倍以上）
B：56㎜以上（　〃　）
C：13㎜以上

部　品	仕　様
L型金具	鋼製 厚さ7㎜以上 幅85㎜以上
六角ボルト(M8)	ねじ山が2山以上ナットから突き出していること
六角ナット(M8)	－
丸座金(M8) 角座金(M8)	厚さ4.5㎜以上 丸座金直径45㎜以上 角座金一辺40㎜以上

上記の例以外に、「羽子板ボルト」等の建築金物で固定することも可能です。
ただし、鉛直上向きの短期荷重7.5（kN）に耐える強度にしてください。

柱長さの算出・切詰め

1 補強柱の確認

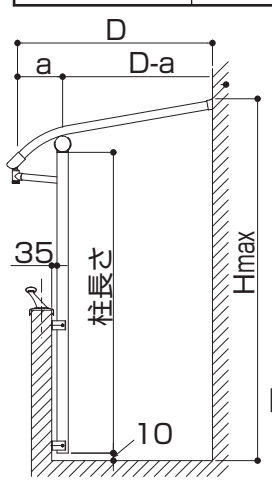
躯体に取付けた**補強柱の位置を確認**してください。

2 柱長さの算出・切詰め

現地にてHmax・D・a寸法を測定し、柱長さを算出・切詰めてください。

柱移動距離（a）範囲表

強　度	a
600N/m²	130～500
1500N/m²	160～500



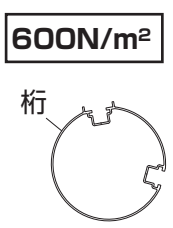
図は600N/m² で示しています。
1500N/m²の場合も同様です。

柱長さ＝Hmax-A-B-10

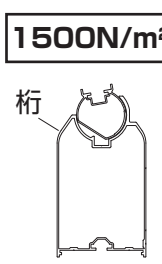
●A寸法を下表より選んでください。
A＝(　　)mm

呼称奥行 D	A	
	600N/m²	1500N/m²
4尺	329.2	369.3
5尺	382.1	422.2
6尺	435.0	475.1
7尺	487.9	528.0

600N/m²



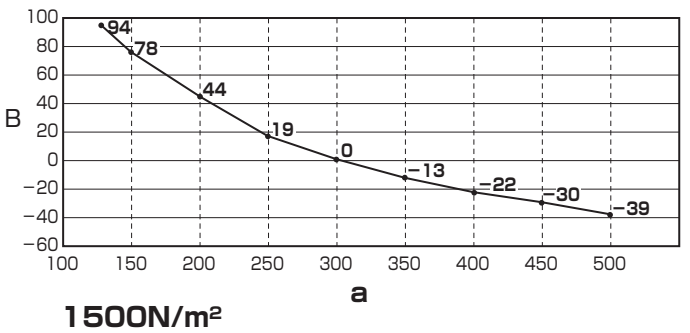
1500N/m²



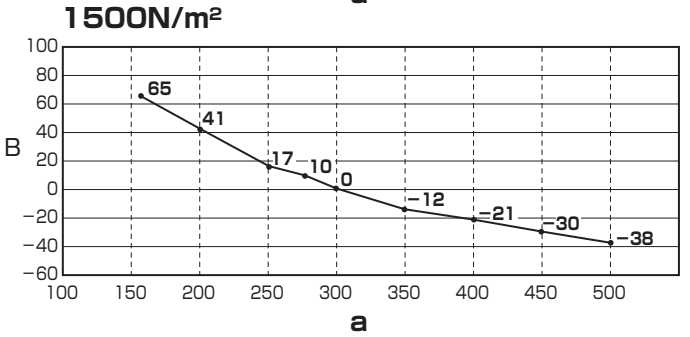
	1～2間
4尺	
5尺	
6尺	
7尺	

●測定したaをグラフにあてはめ、Bを求めてください。
B＝(　　)mm
この表は、標準柱移動距離を300㎜に設定しています。

600N/m²



1500N/m²



施工方法

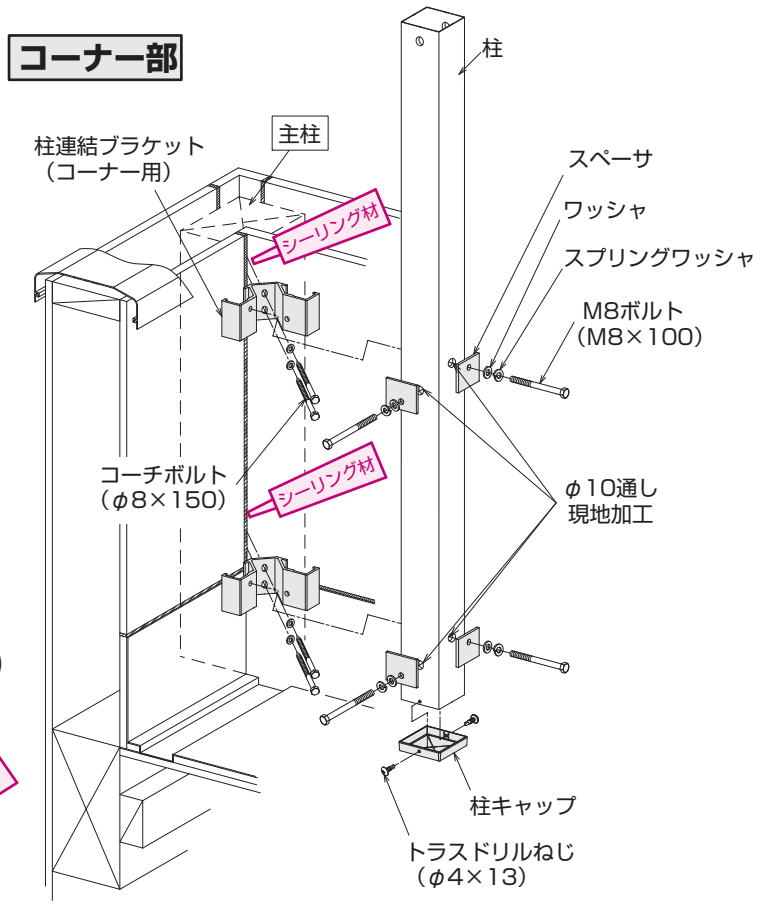
1 柱連結ブラケットの取付

下穴（φ6.5）をあけシーリング材を充てんし、コーチボルトで柱連結ブラケットを取付けてください。

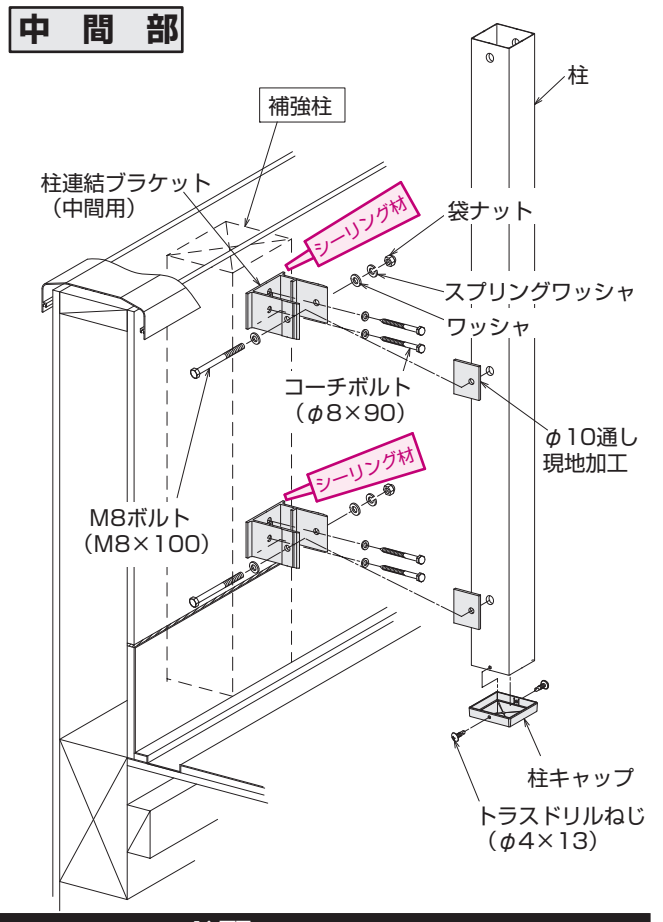
注　意

- **柱連結ブラケットは、確実に躯体柱へ取付け**てください。
- 躯体に雨水が浸入するおそれがあります。
  コーチボルトの下穴およびコーチボルトの周囲は確実に
  シーリング処理を行ってください。

コーナー部



中　間　部

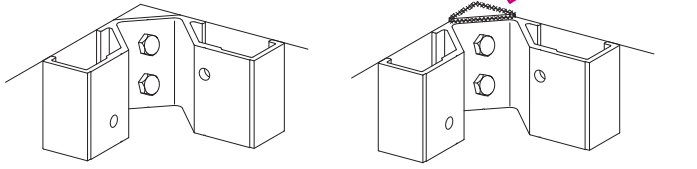


お願い

柱連結ブラケットはなるべく離して取付けてください。

2 クッション材の取付（コーナー用のみ）

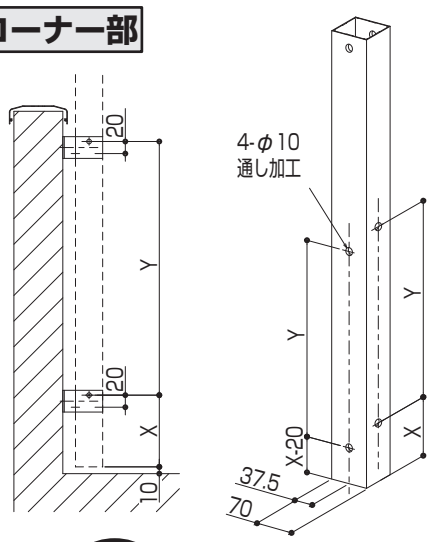
クッション材を上から差込み、
全周をシーリングしてください。



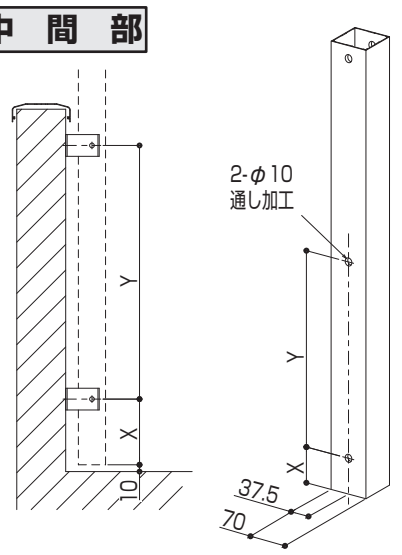
3 柱の穴あけ

下図を参考にX、Y寸法を測定し、通し穴（φ10）をあけてください。

コーナー部



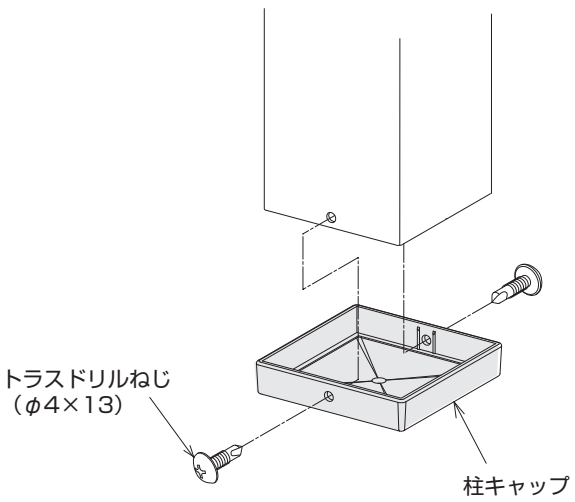
中　間　部



ポイント

- **柱の向きに注意**してください。
- 排水口カバーがある場合、柱のF.Lからの高さ（10㎜）は、カバーを避けた寸法に切詰めてください。

4 柱キャップの取付



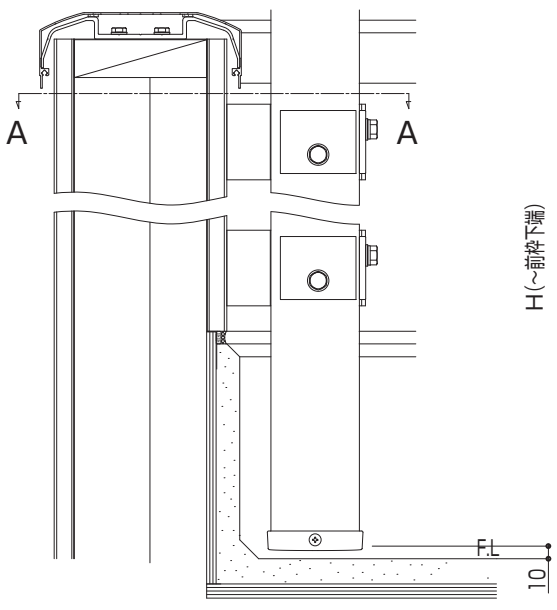
5 柱の取付

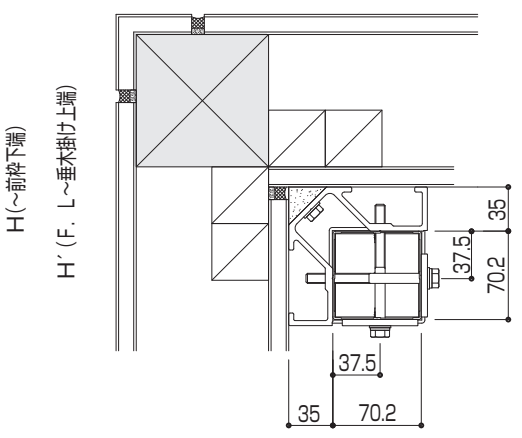
M8ボルトで柱を取付けてください。

これ以降は、本体の組立・施工説明書をお読みください。

納まり参考図　縮尺 1/6　単位㎜

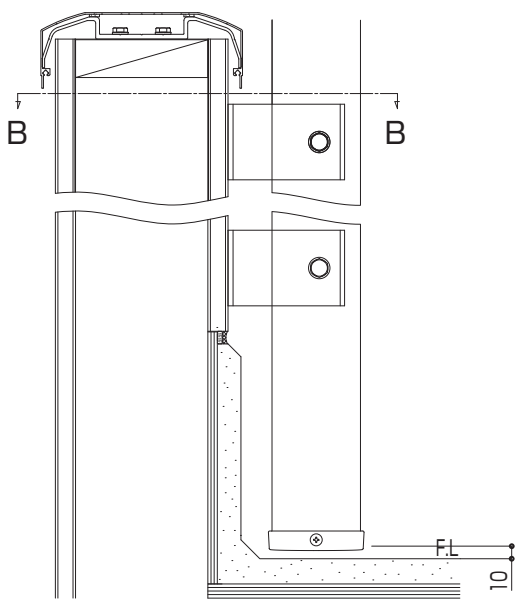
コーナー部

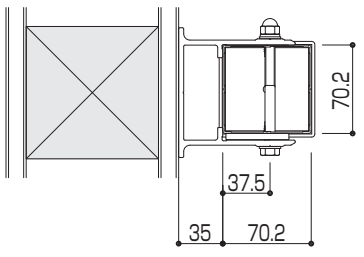




【A－A断面】

中　間　部





【B－B断面】